

1.

氏名 : Ms. Durga Baral Bhandari

国名 : ネパール

所属組織 : 女性子ども社会福祉省 女性開発局 モラン郡女性開発事務所

2. 基本情報

ネパールは南アジアに位置し、中国とインドの2大国に挟まれている。エベレスト山をはじめ多くの高山や釈迦の生誕地として知られる。ネパールは内陸国で総面積は14万7,181km<sup>2</sup>、国土の80%はヒマラヤ山脈である。人口は2001年国勢調査で2,310万人だが、現在は2,500万人とされる。人口の約85%が農村に居住する圧倒的な農村国である。

3. ジェンダー主流化における3つの主要課題/障害

- ◆ 家父長制的な社会、差別的な社会風習
- ◆ 女性の政治参画の実践が不十分で効果が低い
- ◆ 意識の不足と貧困

4. 現行の主要国家政策/計画における3つの優先事項

- ◆ ジェンダーに基づく暴力との闘い
- ◆ あらゆる国家メカニズムにおける女性参画の割合33%の達成
- ◆ 国家予算のうち最低限10%の割り当て

5. 職務内容

- ◆ 女性子ども社会福祉省女性開発局の指導を得ながら、農村女性の社会経済的地位向上のための様々なプログラムを実施する。
- ◆ 農村女性に対して、教育/保健/性差別/女性に対する暴力/人身売買/子どもの権利についての意識啓発を行う。また、研修参加/グループディスカッション/見学/訪問サービスを通じて意志疎通キャンペーンを実施する。
- ◆ 地区レベルの女性開発プログラムを立案/運営/監督する。
- ◆ NGO、INGO、地方自治体、関係庁とともにジェンダー主流化ネットワークのフォーカルポイントの役割を果たす。
- ◆ 前述の女性開発プログラムを定期的に監督/監視する。
- ◆ 関係庁の要求する進捗報告書の作成と提出を行う。

6. ジェンダー主流化にあたっての課題

ドメスティックバイオレンス

7. 上記課題選定の理由

ネパール東部に位置するモラン郡女性開発事務所にて勤務しているが、同地区はテライ(平原)地区呼ばれ、マデシ系の集落が多く存在する。伝統的に根深い風習に起因するドメスティックバイオレンスや男性優位社会によってこの地域に暮らす女性達は絶えず、肉体的/精神的緊張状態を強いられており、この類の事例は日々増加の一途をたどっている。モラン郡で働く行政官として、このような事例の防止/解決にあたらねばならない。職務上ドメスティックバイオレンスの事例を扱うことが多いので、上記課題を選定した。

8. セミナーから得た知識とスキル

本研修を通して既存知識／スキルの拡充が可能となる。最も有用かつ実践的なツールはジェンダー配慮 PCM であり、隠れたジェンダー問題を特定する一助となる。さらに、このツールは、ジェンダーの視点からの計画の策定／実行／調整／モニタリング／評価に適用できる。

9. ジェンダー主流化に関するアクションプラン

- (1) プロジェクトタイトル：ドメスティックバイオレンス相談支援センターの設立
- (2) 期間：2010年11月-2011年10月
- (3) 対象地域：モラン郡（2村落開発委員会）
- (4) 受益者層（ターゲットグループ）：ドメスティックバイオレンスを受けている女性およびその集落
- (5) 実施機関：モラン郡女性開発事務所／ジェンダーに基づく暴力根絶のための郡調整委員会
- (6) 上位目標：社会のドメスティックバイオレンスを軽減する
- (7) プロジェクト目標：
  - ◆ 女性に対する差別行為／様々な形態のドメスティックバイオレンスの軽減
  - ◆ 村落開発委員会レベルでのドメスティックバイオレンス相談支援センターの設置
- (8) 活動：
  1. 郡調整委員会の会合をもつ（15名）
    - 1.1. 2村落を選定する
    - 1.2. ベースラインサーベイを実施する（ドメスティックバイオレンスの現状特定）
    - 1.3. サーベイレポートを作成し開発委員会で共有する
  2. 村落開発事務局／地域の指導者／女性団体／関連省庁職員／青年団体を対象に、ドメスティックバイオレンスに関するオリエンテーションプログラムを実施する（参加者50名／男女同数ずつ）
  - 2.1. 女性に対する暴力に対する村落開発調整委員会を創設する（男女同数）
  3. 村落開発委員会を通してボランティアを選抜する（人数、選抜プロセス等）
  4. 相談支援センター2施設を設立する
  5. ボランティアのためにドメスティックバイオレンストレーナーズ研修を実施する（7日間、2村落開発委員会、参加者10名は全員女性）
  6. 緊急救済資金を各村落に設立する
  7. 相談支援センターを運営し設備を提供する（家具類／コンピュータ／ファシリテータの報奨／相談サービス等）
  8. 村落開発委員会レベルで月3回、郡レベルでは半年に1回の再検討調整会議を実施する
- (9) 成果：
  - ◆ 村落レベルの2相談支援センターがモラン郡に設立される。
  - ◆ 暴力を受けている女性がセンターに容易にアクセスできる。